

2021年度臨時社員総会（全国理事長会議）議事録

一般社団法人日本社会人バスケットボール連盟

2022年2月26日13:30分から、Web会議にて、臨時社員総会（全国理事長会議）を開催した。

議決権のある社員総数	47名
総社員の議決権の数	47個
出席社員数	44名（委任状1名）
この議決権の総数	44個

会議場所 Web会議（東京都文京区後楽1-7-27）

出席社員 別紙出席者名簿参照

欠席社員 委任状（秋田県、山形県、茨城県）

出席理事 逢沢一郎、田中博行、川武修、門川浩人、山花英司、野口加代、橋本雅子、
野田明宏、池田照、阿部優也、時松さおり、（敬称略）

出席監事 橋本弘昭、森俊一（敬称略）

オブザーバー参加 宇田津広報・審判部長

事務局 小西道雄（記）

〈開会のあいさつ〉

会議冒頭に逢沢会長より開会のあいさつをいただいた。

〈開会の確認〉

定款第17条に則り過半数の出席を有しており臨時社員総会が成立していることを確認。

議長は、本社員総会は適法に成立し、開会する旨を宣し、直ちに議事に入った。

尚 議事録署名人は、議長、山花理事、広島県河内社員の3名を選出した。

《 審 議 ・ 報 告 事 項 》

(1) 2021年度競技会進捗状況について（報告事項）

山花競技部長より、2021年度の競技進捗状況について説明・報告があった。

コロナ禍で開催中止となった全国規模（JBA/JSB主催大会）の大会については、第1回日本社会人女子フレンドリーシップ50高知大会と第4回全日本社会人地域リーグチャンピオンシップの2大会が中止となってしまった。その他の大会も厳しい状況であったが、感染対策を十分に行い関係者の努力もありなんとか開催できた。

一方ブロック選手権を開催できたブロックは北海道、東北の2ブロック、OA選手権は北信越、東海、中国、九州の4ブロックであり、ブロック予選が開催できない厳しい状況でもあった。

【資料の提示】

No. 1: 2021年度競技大会開催日程（進捗状況）

(2) 2022-23年度役員候補者（会長候補）選考委員会答申

役員候補者選考委員会委員長の川武副会長より、選考委員会議事録を示し出席社員に対して答申を行った。

議長より、出席社員に意見を求めた。

・特に答申に対する意見はなかった

議長は、役員候補者選考委員会(会長選考)答申について賛否を求めた。

満場一致で現会長の逢沢一郎氏の留任は承認された。

(3) 2022年度予算について(審議事項)

*小西事務局長(財務担当)より2021年の財務状況(収支見込)についての説明があった。2021年度もコロナ禍での厳しい状況を報告した。

内容については、JBA交付金、協賛社の状況、スポーツ振興助成金(toto)、大会開催中止によりキャンセル料等の支出増、Web会議による収支の変化等を報告した。

*山花競技部長より、2022年度の競技スケジュール表を提示し新しい大会等についての日程確認を行った。まだ日程や会場が決定していない大会もあるが決定したら報告をお願いしたい。

小西事務局長(財務担当)より2019年度～2021年度の正味財産増減推移と2021年度収支見込等を踏まえ2022年度の予算についての説明・提案があった。

*スポーツ振興助成金の制度を活用して助成を得られる見込みはあり、JBAの交付金は今年度より増額の一次回答を得ているが2019年の交付額には戻っていない(チームの登録数の回復)こともあり年度収支は非常に厳しい。

*2022年度の単年度では厳しい状況ではあるが、大会ごとの受益者負担等の施策も加味して単年度ではプラスに持っていきたい。

*コロナ禍で社員総会・理事会等多くの会議をWeb会議で開催した結果、旅費等が減少し収支には貢献している(プラス面)。これらのことから対面での会議とWeb会議とのバランスを図って収支の改善を図る。

議長より、出席社員に意見を求めた。

⇒報告事項等Web会議でもよいが新しい提案等お互いに議論を重ねる会議等はやはり対面が望ましい。

・上手にバランスをとっていききたい。

*議長は、2022年度の予算について賛否を求めた。

満場一致で2022年度予算は提案通り承認された。

【資料の提示】

No.2:2021年度収支状況(説明)

No.3:2022年度競技日程・会議日程

No.4:2022年度予算(案)・正味財産増減推移

(4) その他(報告)

① トップリーグ&エリアリーグ構想について

既にPBA社会人連盟や地域リーグのチームへは構想の資料を配布して理解をいただいているが、まだ未配布の地域・チーム等理解度は不足との声もあり、今回の社員総会のタイミングで関係する皆様にも一層の理解を得るため説明を行った。年度が改まったタイミングで関係する地域リーグのチームを主体に説明会等を計画していく。

山花競技部長より“トップリーグ&エリアリーグ構想“について資料に基づき説明があった。

議長より、出席社員に意見を求めた

⇒既に資料が配布され出席者の理解しているところが多いが、Web会議ではなかなか伝わりにくい？

・該当するチーム間との話し合い(理解を深める)も必要。

【資料の提示】

No.5 トップリーグ&エリアリーグ構想について

- ② 出席者全員の声を聴きたいが、時間の関係もあり代表して各ブロック長にブロック内の状況等報告をいただいた。
- ③ 次週開催予定の第4回全日本バスケットボール選手権大会(栃木大会)については、過去2年間コロナウイルス感染症拡大の影響で開催中止にしたため、感染拡大がなかなか収まらず、無観客等の対策を実施しながら開催したい。

議長は、報告事項を含めて本日の審議が終了した旨を述べ、11時50分に閉会した。
以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し議事署名人がこれに記名し押印する。

議長 田中博行

理事 山花英司

社員 河内凡子 (広島県)

以上